

令和２年度 児童対象アンケート結果及び保護者対象アンケート結果及び改善策

項 目	質 問 事 項	割 合 (%) ■そう思う ■だいたいそう思う ■あまり思わない ■思わない ■分からない	改 善 策
基礎基本の定着	【児童】計算や音読、漢字練習をしっかりとやっている。 【保護者】我が子は、授業の内容が理解できていると思う。		○８割以上の児童及び保護者が肯定的な回答をしています。基礎・基本の十分な定着を図るために、学力調査の分析結果を生かした授業展開、マスタータイムの充実、自主学習や宿題の定着を図ります。
家庭学習の習慣化	【児童】毎日家で勉強している。 【保護者】我が子は、家庭性学習の習慣が身に付いていると思う。		○模範になる自主学習ノートを紹介するなど、自主学習の進め方についての情報を提供し、家庭学習に取り組む意欲を高めます。 ○「家庭生活振り返りシート」の分析結果を、学年だよりなどを通して伝えたり、個別の指導に役立てたりします。
授業力の向上	【児童】学校の授業はわかりやすい。 【保護者】学校は、子どもたちにとってわかりやすい授業を行っている。		○９６％の児童が、「授業がわかりやすい」と回答しています。すべての児童にとってよくわかる授業となるように、授業改善に努めます。 ○授業の振り返りの記述を基に、一人一人の学習上の課題を把握し、個別の支援に生かしていきます。
学習支援の充実	【児童】先生にわからないところを聞いている。 【保護者】学校は、子どもたちがわからないところを聞けるような雰囲気になっている。		○授業の最後に、授業でわからなかったところについての確認の時間を取ります。 ○振り返りの記述を基に、教師から児童に積極的に声を掛けます。 ○児童同士の教え合いの時間を確保します。
規則正しい生活	【児童】「早寝、早起き、朝ごはん」ができています。 【保護者】学校は、規則正しい生活習慣を身に付けるための指導、家庭への啓発等をしっかり行っている。		○実現可能な、具体的な指導目標を設定し、規則正しい生活習慣の指導を進めていきます。 ○ＨＰに加え、学年だよりを通して、学校での取組の様子や、保護者へのお願いを伝え、家庭への啓発を進めていきます。
行事への積極的取組	【児童】運動会や南っ子会議などの行事では、友だちと協力して一生懸命取り組んでいる。 【保護者】運動会や南っこ会議などの行事は、仲間作りや学校生活の充実のために工夫されている。		○９６％の児童が、肯定的な回答をしています。今後も、学級集団づくりや異学年交流を推進していくとともに、運動会や南っ子会議など、児童が主体的に活動できる場を設定していきます。
規範意識の醸成	【児童】学校や社会のルールをきちんと守っている。 【保護者】学校における規範意識を高めるための様々な教育活動は適切である。		○９７％の児童が、肯定的な回答をしています。今後も、道徳教育や日常の指導を通して、児童の規範意識を育てていくとともに、登下校や学校生活のきまりなどの約束について、その都度、具体的に指導していきます。
安心・安全な学校生活 いじめ防止	【児童】学校は、落ち着いて生活できる場所である。 【保護者】学校は、安心・安全な学校生活を子どもたちに提供している。 【保護者】学校は、いじめ防止に努めている。		○毎月の「南っ子アンケート」の実施や、週一回実施している児童指導連絡会、年２回の教育相談等を通して、いじめ等の問題の早期発見に努めています。いじめが認められた場合は、保護者との連絡を密にし、児童の人権に配慮しながら、迅速かつ適切に対応していきます。 ○今後も、児童の居場所作りや、環境整備を継続して行っています。 裏面も御覧ください。

項 目	質 問 事 項	割 合 (%)	■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまり思わない ■ 思わない ■ 分からない	改 善 策
地域との連携	【児童】 コミセン祭りや育成会の行事などの地域の行事に参加している。	34 25 15 26	34 54 7 0 4	○コロナ禍に伴う活動機会の減少の影響が、児童の回答からうかがわれます。 ○読み聞かせや学校応援団活動など、限られた機会の中で、大きな協力をいただくことができました。今後も、各種ボランティア活動等を通して連携を深めるとともに、明治南コミセン祭り、明治南コミュニティ推進協議会主催の行事に児童は進んで参加するように啓発します。
	【保護者】 学校と地域は上手に連携している。			
保護者との連携	【児童】 学校からのお手紙をその日のうちに家の人に見せている。	54 30 11 4	56 28 10 7 39 42 10 5 4 38 54 5 2	○80%以上の児童・保護者が、肯定的な回答をしています。家の人との会話を促進するような宿題の出し方や話題の提供に努め、家庭での対話を更に促していきます。 ○今後も、学校に対する関心が高まるよう、ホームページや学校だより、学年だよりなどを通して情報提供を積極的に行い、保護者との連携を密にしながら、教育活動を進めていきます。
	【児童】 学校のできごとを家の人に話している。			
	【保護者】 懇談会や家庭訪問等では、教職員と保護者がお互い話しやすい雰囲気になっている。			
	【保護者】 学校は、教育活動の様子を保護者に伝える工夫や努力をしている			

1. 本校の教育活動については、児童、保護者とも概ね良好と捉えています。特に特別活動への取組や、安心安全な学校づくり、規範意識の醸成、更に、ホームページや各種たよりなどによる情報提供についても高い評価をいただいています。学校と地域の連携が深まり、各種ボランティア活動など多くの協力をいただき、教育活動に大きな効果を上げています。
2. 今後の課題は以下の3点と考えております。
 - (1) 児童が教師にわからないところを聞くことができる雰囲気づくりや、時間の確保を図り、児童の学習意欲が更に高まるよう、教育活動や業務を見直していきます。
 - (2) 基本的な生活習慣や自ら家庭学習に取り組む習慣が身に付くようにするため、具体的な指導目標を設定し、指導の工夫改善を図ります。また、家庭生活振り返りシートの分析結果についても、学年だよりなどを通して定期的に情報を提供し、学校と家庭の連携を深めながら指導を進めていきます。
 - (3) いじめ、不登校、暴力行為等を未然に防ぐために、実態の把握と、指導に努めています。今後も、保護者、地域の皆様に「学校は適切に対応している」と理解してもらえるよう情報提供を行い、家庭との連携を密にしながら、児童理解と児童指導に努めていきます。今後とも、明治南小学校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。